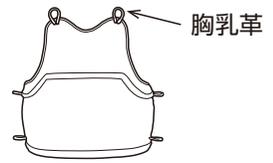
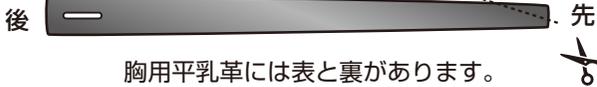


胸乳革の取り付け方



胸用乳革には平乳革と縫乳革の2種類あります

〈平乳革〉



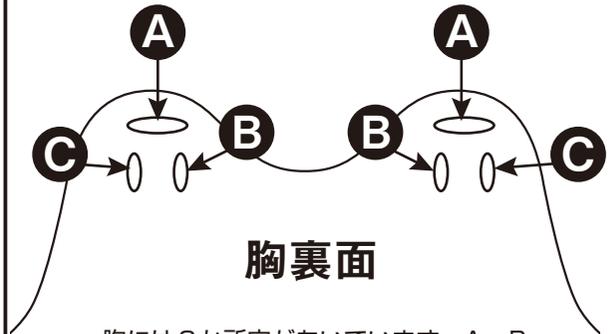
胸用平乳革には表と裏があります。
表：黒ツヤあり 裏：ざらざらツヤなし

〈縫乳革〉



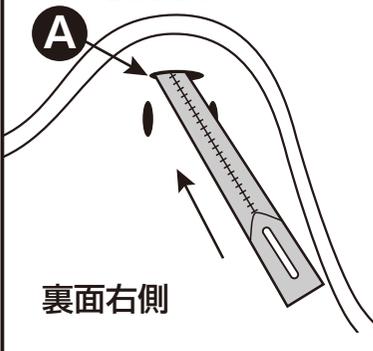
胸用縫乳革には表と裏があります。
表：縫い目なし 裏：縫い目あり

先端をカットすると穴に通しやすくなります。
※切れ込みのない方をカットして下さい。
※〈先〉にセロハンテープを付けると通しやすくなります。

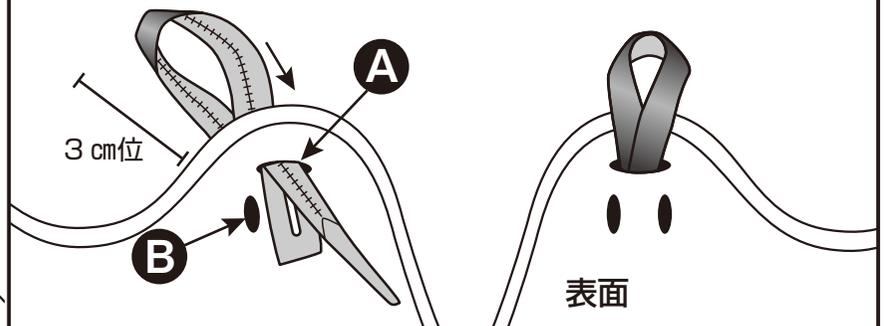


胸には3か所穴があいています。A→B→Cの順に乳革を通していきます。左右逆方向に取り付けると仕上がりがきれいになります。

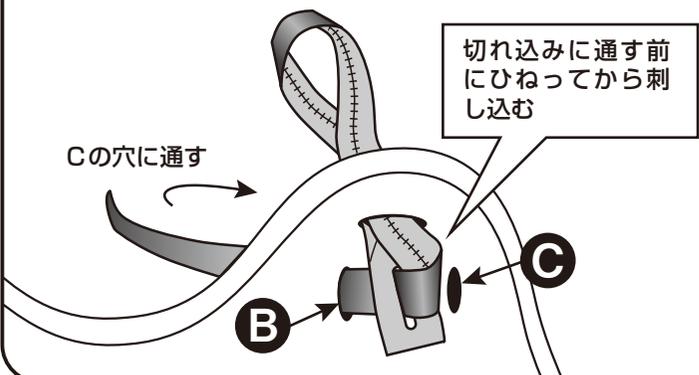
1. 胸の裏側からAの穴に胸乳革の裏を上にして〈先〉(平乳革・縫乳革どちらもカットした方)を通します。



2. 胸乳革の〈後〉の切れ込みがBの穴の上にくるまで入れます。Aの穴に今度は胸の表側から〈先〉を通します。そのとき、胸乳革の輪を3cmくらいになるようにします。胸表面から見て乳革も表になるようにします。平乳革では黒ツヤのある方、縫乳革の場合は縫い目が見えないようにします。※輪は最後にひっぱるので少し小さめにします。



3. 胸乳革の〈先〉を〈後〉の切れ込みに通します。通す前に一度乳革をひねった状態で切れ込みに通します。胸乳革の先をBの穴に通し、胸の表側に出し、Cの穴に表から通します。表に出る部分は、乳革の表が見えるようにします。



4. Cから出た乳革の〈先〉をAからBに乳革がななめにわたっている部分の下に通します。最後は輪をひっぱってしめてから余分な〈先〉をカットします。

